

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	総務課			記入者	早坂 朗	
広域圏計画	第 部	第 章	第 節	第 項	事務事業名	情報の公開及び文書管理事業
施 策	第	政策体系外				
実施根拠・根拠法例等	最上広域市町村圏事務組合 情報公開条例					
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定事業 <input type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input type="checkbox"/> 評価事業 <input checked="" type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	組合の保有する情報を広く住民に公開することにより、開かれた組合行政の実現を図る。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 情報公開率 (%)	100	-	93	-	備考：公開数/公開可能な請求の件数	
2 引継文書数 (冊)	179	-	183	-		
3						

【事業費等】							(単位：千円)
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額						
	財 国・県支出金						
	地方債						
	その他						
人件費	従事職員数	0.11	0.07	0.08	0.15	0.15	
	人 件 費	822	491	564	1,058	1,058	
	費用合計	822	491	564	1,058	1,058	

【現状分析及び今後について】		
現状分析	情報公開請求について、的確な事務処理のもと1件非公開となったが、積極的に情報提供をした。	今後について 現状維持で継続する。

【1次評価】		
1次評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理由

【2次評価】		
総合評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】							
主 管 課	総務課				記 入 者	早坂 朗	
広域圏計画	第 部	第 章	第 節	第 項	事務事業名	人事・給与に関する事務	
施 策	第	政策体系外					
実施根拠・根拠法例等	地方自治法第204条、第204条の2、地方公務員法第15条、第24条						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input type="checkbox"/> 単独事業	<input checked="" type="checkbox"/> 内部事業		評価区分	<input type="checkbox"/> 評価事業	<input checked="" type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実施方法等	地方公務員及び条例に基づいて職員の任免・給与制度を適切に処理する。						

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 職員数 (R3. 4. 1)	130	-	132	-		
2 人事評価実施人数 (R4. 3. 31)	130	-	132	-	備考：全職員に実施	
3						

【事業費等】 (単位：千円)							
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	323	1,691	3,168	3,168	3,168	事業費は、電算システム使用料等の人事・給与に関する費用
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他						
	一 般 財 源	323	1,691	3,168	3,168	3,168	
人 件 費	従事職員数	0.75	0.85	0.90	0.94	0.94	
人 件 費	人 件 費	5,601	5,967	6,350	6,633	6,633	
費用合計	5,924	7,658	9,518	9,801	9,801		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	職員の給与等について、法令に基づき適切に処理することができている。 人事評価については、年度当初に各自目標を設定し、年度末までに評価を行っている。	今後について 現状維持で継続する。

【1次評価】		
1次評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理 由

【2次評価】		
総合評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	総務課			記入者	早坂 朗	
広域圏計画	第 部	第 章	第 節	第 項	事務事業名	職員研修事業
施 策	第	政策体系外				
実施根拠・根拠法例等		地方公務員法第39条				
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input type="checkbox"/> 単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	実務研修により公務員としての基本的な資質・業務遂行上必要な公務能率規範の向上を図る。					

【事業実績等】					
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
		目標値	実績	達成度	
1 研修所派遣人数	8	-	14	-	備考：市町村職員研修所と東北自治研修所の計
2 自主研修参加人数	11	-	75	-	
3 独自研修参加人数	34	-	91	-	

【事業費等】 (単位：千円)							
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	225	72	389	482	482	令和3年度から独自研修の委託料を予算計上
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他						
一 般 財 源	225	72	389	482	482		
人 件 費	従事職員数	0.07	0.09	0.27	0.24	0.24	
人 件 費	人 件 費	523	632	1,905	1,693	1,693	
費用合計		748	704	2,294	2,175	2,175	

【現状分析及び今後について】		
現状分析	市町村職員研修所等が実施する研修などに参加させ、職員の能力向上や人材育成を行った。また、令和2年度からは独自研修も行い、広域職員として役職ごとの役割等について認識を深め、令和3年度からは全職員を対象としたハラスメント防止研修を実施し、組織としてハラスメント防止に努めた。自己啓発意欲の向上を図るため自主研修への参加を募り、審査のうえ旅費を支給し、研修後の活動報告の提出によりその成果を確認した。	今後について 現状維持で継続する。

【1次評価】		
1次評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 理由 評点は42.8。独自研修が実施されるなど、計画的な事業実施が図られている。

【2次評価】		
総合評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理由 評点は39.0。継続が必要だが、研修内容によって全職員を対象にする、対象者を絞るなどの工夫が必要である。実施の必要性は大きい。人件費負担が大きくなっている。事業は継続する。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	総務課			記入者	横山 雅伸	
広域圏計画	第2部	第5章	第1節	第1項	事務事業名	最上地域共同職員研修
施策	第	広域行政の推進				
実施根拠・根拠法例等						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業		<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業		<input type="checkbox"/> 内部事業	
評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業		<input type="checkbox"/> 説明事業			
事業の目的・内容 実施方法等	最上地域の新規採用職員に対して前期後期合わせて4日間の研修を行い、公務員としての意識を確立し、執務に必要な基礎知識・技術を習得させ、職場への対応能力を養成する。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 受講者数（新規採用職員）	0	-	70	-	令和2年度入庁者35名・令和3年度入庁者35名	
2						
3						

【事業費等】							(単位：千円)
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考	
事業費内訳	予算・決算額	389	0	960	485	485	
	財国・県支出金						
	地方債						
	その他						
一般財源	389	0	960	485	485		
人件費	従事職員数	0.11	0.1	0.11	0.03	0.03	
人件費	人件費	821	702	776	212	212	
費用合計	1,210	702	1,736	697	697		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	最上地域の新規採用職員に対し前期後期あわせ4日間でビジネスマナーや公務員倫理などの研修を行っている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を翌年度以降に見送ったが、令和3年度は感染症対策を十分に講じながら、令和2年度入庁者及び令和3年度入庁者を対象に研修を実施した。	今後について 公務員として住民の見本となるべき人材を育成のため継続が望ましい。

【1次評価】		
1次評価	B A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理由 評点は43.2。新型コロナウイルス感染症の影響により中止された令和2年度入庁者向けの研修と、令和3年度入庁者向けの研修を実施した。公務員としての基礎能力を習得し、市町村間での連携を図る機会でもあることから、事業継続が必要である。

【2次評価】		
総合評価	B A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理由 評点は40.0。継続が必要だが、2回目の開催時期は検討が必要と思われる。組合で実施する意義を再考し、職員研修所の活用など、精査する必要がある。事業は継続する。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】							
主 管 課	総務課				記 入 者	早坂 朗	
広域圏計画	第 部	第 章	第 節	第 項	事務事業名	共済組合事務及び職員の福利厚生事業	
施 策	第	政策体系外					
実施根拠・根拠法例等	労働安全衛生法第66条、地方公務員法第42条、共済組合法						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input type="checkbox"/> 単独事業	<input checked="" type="checkbox"/> 内部事業		評価区分	<input type="checkbox"/> 評価事業	<input checked="" type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実 施 方 法 等	共済制度を適切に処理し、また職員の健康管理及び業務能力の向上を図る。						

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 共済組合申請・申告数	122	-	115	-		
2 定期健診受診者率 (%)	100	-	100	-	備考：受診職員数/受診対象者数、人間ドック受診者除く	
3 腹部超音波検診受診者数	20	-	19	-	備考：50歳以上の全職員を半額補助対象	

【事業費等】 (単位：千円)							
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	1,175	1,213	1,226	1,438	1,457	
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他						
	一 般 財 源	1,175	1,213	1,226	1,438	1,457	
人件費	従事職員数	0.84	0.63	0.45	0.45	0.45	
	人 件 費	6,273	4,423	3,175	3,175	3,175	
費用合計	7,448	5,636	4,401	4,613	4,613		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	職員の健康診断については全職員が受診した。腹部超音波検診は50歳以上を半額補助とし、50歳以上の受診者が多くなっている。より一層職員の健康意識を高めるため、令和2年度から骨粗鬆症検診も実施し、令和3年度は50歳以上の女性に半額補助している。共済組合への各種手続等についても、適切に処理している。	今後について
		現状維持で継続する。

【1次評価】		
1次評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理 由

【2次評価】		
総合評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合
		理 由

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主 管 課	総務課				記 入 者	佐藤 祥太
広域圏計画	第 2 部	第 5 章	第 1 節	第 2 項	事務事業名	財政運営事務（当初・補正予算編成等）
施 策	第					
実施根拠・根拠法例等	地方財政法第2条					
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定事業 <input type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input type="checkbox"/> 評価事業 <input checked="" type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	構成市町村の財政状況を把握しつつ、当組合の財政状況と今後を見極め、行財政の効率化を図ることを目的とし、必要最低限の財源で適正な予算配分を行いながら、健全な財政運営を図る。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 地方債残高（百万円）	847	-	807	-		
2 一般会計当初予算額（百万円）	2,834	-	3,001	-		
3 一般会計実質単年度収支（千円）	▲ 7,261	-	▲ 16,333	-		

【事業費等】 （単位：千円）						
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
事業費内訳	予算・決算額					
	財 国・県支出金					
	地 方 債					
	そ の 他					
人件費	従事職員数	1.05	1.25	1.15	1.06	1.06
	人 件 費	7,840	8,775	8,114	7,479	7,479
	費用合計	7,840	8,775	8,114	7,479	7,479

【現状分析及び今後について】		
現状分析	本年度は152,444千円の起債償還が進んだが、新たにエコプラザもがみの破砕機設置工事に係る112,200千円の起債を行ったことにより、起債残高については40,244千円の減額となった。実質単年度収支については本年度単年度収支が前年度単年度収支を下回ったためマイナスとなっている。	今後について
		財源の圧縮及び、分担金の平準化を図りながら、今後も計画的な地方債発行を行い、健全な財政運営に努める。

【1次評価】		
1次評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理 由

【2次評価】		
総合評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合
		理 由

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	総務課			記入者	佐藤 祥太	
広域圏計画	第2部	第5章	第1節	第2項	事務事業名	庁舎管理・車両管理業務
施策	第	政策体系外				
実施根拠・根拠法例等						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input type="checkbox"/> 単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input type="checkbox"/> 評価事業 <input checked="" type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	安全で利用しやすい庁舎等をつくり、公用車の安全で効率的な運用を図ることを目的とし、保守点検等による適切な維持管理を行う。					

【事業実績等】					
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
		目標値	実績	達成度	
1 庁舎維持管理費用	1,066	-	178	-	
2 車両維持管理費用	484	-	666	-	
3					

【事業費等】							(単位：千円)
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考	
事業費内訳	予算・決算額	8,750	1,550	844	3,764	1,628	R3公用車(キューブ)緊急修繕377,916円 R4公用車購入2,411千円(キューブ更新)
	財 国・県支出金						
	地方債						
	その他						
一般財源	8,750	1,550	844	3,764	1,628		
人件費	従事職員数	0.35	0.42	0.39	0.34	0.34	
	人件費	2,613	2,948	2,752	2,399	2,399	
費用合計		11,363	4,498	3,596	6,163	4,027	

【現状分析及び今後について】	
現状分析	庁舎内の空調や湯沸器、換気扇等の修繕を実施し、庁舎内の環境を適正に維持することができた。車両に関しても車検や12ヶ月点検を実施し、安全な車両管理に努めた。
今後について	適切な営繕・保守点検等の実施により、公有財産の延命化を図る。

【1次評価】	
1次評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る
理由	

【2次評価】	
総合評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合
理由	

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】							
主管課	総務課				記入者	横山 雅伸	
広域圏計画	第2部	第5章	第1節	第1項	事務事業名	排水ポンプ車維持管理・出動管理事業	
施策	第	排水ポンプ自動車整備事業					
実施根拠・根拠法例等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業		
事業の目的・内容 実施方法等	全国的に水害の発生が目立つ中で、最上地域でも同様の被害を抑え、圏域住民の安全と安心に資するため排水ポンプ自動車4台を運用する。						

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 排水ポンプ自動車出動回数	8	-	0	-	災害用車両のため、目標値は設定しない。	
2						
3						

【事業費等】 (単位：千円)							
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	6,796	9,631	5,505	11,853	11,853	
	財 国・県支出金						
	地 地方債						
	そ の 他						
人 一般財源	8,157	6,796	5,505	11,853	11,853		
人 従事職員数	0.28	0.16	0.14	0.14	0.14		
人 人件費	2,091	1,123	988	988	988		
費用合計	8,887	10,754	6,493	12,841	12,841		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	平成26・27年度で購入した排水ポンプ自動車4台を常時稼働できるように維持管理を行い、災害時や防災訓練に出動する。令和3年度は災害の発生がなかったため、出動しなかった。	今後について 緊急時に備えて継続が望ましい。

【1次評価】		
1次評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 理由 評点は45.6。令和3年度の災害出動はなかったが、災害に備え、緊急時に対応できるよう今後も事業を継続する必要がある。

【2次評価】										
総合評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 今後の方向性 <table style="display: inline-table; vertical-align: top; margin-left: 10px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 拡大</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 縮小</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input type="checkbox"/> 削減</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td><input type="checkbox"/> 統合</td> </tr> </table> 理由 評点は44.5。継続が必要である。近年の災害発生状況から住民の期待は大きく、事業は継続する。一方で、配備町村による維持管理など、災害の状況によっては町村への直接配備の方が効果的な場合もある。	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 削減	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 統合
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡大									
<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 縮小									
<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 削減									
<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 統合									

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主 管 課	総務課		記 入 者	伊藤 裕嗣		
広域圏計画	第 部	第 章	第 節	第 項	事務事業名	理事会運営事務
施 策	第	政策体系外				
実施根拠・根拠法例等	最上広域市町村圏事務組合理事会規約第10条、最上広域市町村圏事務組合理事会規則					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input type="checkbox"/> 単独事業	<input checked="" type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input type="checkbox"/> 評価事業	<input checked="" type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実施方法等	組合運営の基本方針、振興整備計画の実施計画、条例・予算・決算等の議案などの重要事項の決定機関の議事進行を補助し、その内容を記録、保存する。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 定例理事会の開会回数	12	-	13	-		
2						
3						

【事業費等】 (単位：千円)						
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
事業費内訳	予算・決算額	558	558	558	558	
	財 国・県支出金					
	地方債					
	その他					
人件費	従事職員数	0.60	0.42	0.59	0.54	0.54
	人 件 費	4,480	2,948	4,163	3,810	3,810
	費用合計	5,038	3,506	4,721	4,368	4,368

【現状分析及び今後について】	
現状分析	<p>毎月1回定例の理事会を開催し、最上広域事業の方針について決定している。また、令和3年度は臨時理事会を1回開催した。</p> <p style="text-align: right;">今後について 毎月、重要案件が審議されており、今後も理事会で決定された方針により効率的な広域行政の運営を図る。</p>

【1次評価】	
1次評価	<p>A:期待を上回る</p> <p>B:概ね期待どおり</p> <p>C:期待を下回る</p> <p style="text-align: right;">理 由</p>

【2次評価】	
総合評価	<p>A:期待を上回る</p> <p>B:概ね期待どおり</p> <p>C:期待を下回る</p> <p style="text-align: right;">今後の方向性</p> <p> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 </p> <p style="text-align: right;">理 由</p>

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】					
主 管 課	総務課			記 入 者	伊藤 裕嗣
広域圏計画	第 部	第 章	第 節	第 項	事務事業名 組合例規集の整備、加除事務
施 策	第	政策体系外			
実施根拠・根拠法例等	最上広域市町村圏事務組合行政組織規則第8条				
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input type="checkbox"/> 単独事業	<input checked="" type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input type="checkbox"/> 評価事業 <input checked="" type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実施方法等	新たに公布、改正された条例や規則等を、例規集に加除して整理する。併せて例規集データベースを活用し、組合例規の改正作業等の省力化を図る。				

【事業実績等】					
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
		目標値	実績	達成度	
1 追録印刷部数 (部)	100	-	100	-	
2 例規システム借上料 (千円)	1,100	-	1,100	-	
3					

【事業費等】 (単位：千円)							
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	1,534	1,553	1,585	847	847	
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他						
一 般 財 源	1,534	1,553	1,585	847	847		
人 件 費	0.06	0.05	0.03	0.03	0.03		
人 件 費	448	351	212	212	212		
費用合計	1,982	1,904	1,797	1,059	1,059		

【現状分析及び今後について】	
現状分析 令和3年度は第52,53号の追録を行った。また、条例・規則などの改正事務を適正かつ効率的に行うため、例規システムを導入したが、一層の活用を図っていく必要がある。	今後について 条例・規則等の改正などがあった際は、今後も遅滞なく改正等の事務を行う。

【1次評価】				
1次評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: none;">A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る</td> <td style="width: 10%; border: none; text-align: center;">理 由</td> <td style="width: 60%; border: none;"></td> </tr> </table>	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理 由	
A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理 由			

【2次評価】							
総合評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: none;">A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る</td> <td style="width: 10%; border: none; text-align: center;">今 後 の 方 向 性</td> <td style="width: 60%; border: none;"> <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合 </td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none; text-align: center;">理 由</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table>	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今 後 の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合		理 由	
A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今 後 の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合					
	理 由						

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主 管 課	総務課			記 入 者	横山 雅伸	
広域圏計画	第 2 部	第 4 章	第 1 節	第 項	事務事業名	広域交流センター運営事業
施 策	第	最上広域交流センターの充実				
実施根拠・根拠法例等	最上広域市町村圏事務組合基本計画					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業	<input type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実施方法等	最上の自然や文化、歴史などを感じることができるとともに、情報発信基地として、人々に夢を与え、交流の促進を図ることを目的に、設置運営している。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 入館者数（千人）	748	1,000	970	97	過去の入館者数から算出	
2						
3						

【事業費等】 （単位：千円）							
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	109,876	101,500	107,966	89,193	93,797	
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他	15,639	12,030	19,883	12,078	12,078	
一 般 財 源	94,237	89,470	88,083	77,115	81,719		
人 件 費	従事職員数	2.00	1.75	2.25	1.31	1.31	
人 件 費	人 件 費	14,934	12,285	15,876	9,243	9,243	
費用合計	124,810	113,785	123,842	98,436	103,040		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	令和3年度で指定管理者との協定期間が終了することに伴い、令和4年度以降の指定管理者を公募選定した。現行指定管理者の評価、審査及び選定については、外部委員を含めた各委員会により実施し、新たな指定管理者が選定された。	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold; margin-right: 5px;">今後について</div> <div>最上地域の交流の拠点施設として不可欠なものとなっているため継続が望ましい。</div> </div>

【1次評価】		
1次評価	B	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る </div> <div style="width: 50%;"> 理由 評点は40.8。令和3年度は次年度以降の新たな指定管理者を選定し、新たな利活用の促進に繋がる取組を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響は大きいですが、入館者数は増加傾向で推移しており、今後も計画的に事業を継続する必要がある。 </div> </div>

【2次評価】		
総合評価	B	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る </div> <div style="width: 50%;"> 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 </div> <div style="width: 50%;"> 理由 評点は43.5。継続が必要である。新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた来館者数は、様々な工夫で回復傾向にある。新たな指定管理者には、負担の少ない自主事業で来館者の増加を図るなど、更なる創意工夫が期待される。 </div> </div>

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主 管 課	総務課				記 入 者	横山 雅伸
広域圏計画	第 2 部	第 4 章	第 1 節	第 項	事務事業名	最上広域圏情報発信事業
施 策	第	最上広域交流センターの充実				
実施根拠・根拠法例等	最上広域市町村圏事務組合基本計画					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業	<input type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実 施 方 法 等	最上8市町村の自然や文化、観光施設等の紹介映像を制作し、マルチディスプレイにて放映、情報を発信する。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 企画、編集、美術	1回	1回	0回	0	前年度実績	
2 イベント告知	18回	48回	0回	0	8市町村×6回	
3 民間CM回数	1件	1件	5件	500	当初予算による	

【事業費等】							(単位：千円)
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	3,622	3,102	2,903	2,132	1,886	
	財 国・県支出金						
	地 地方債						
	そ の 他	0	5	20	0	0	
	一 般財源	3,622	3,097	2,883	2,132	1,886	
人 従事職員数	0.11	0.11	0.08	0.16	0.16		
件 人 件 費	821	772	564	1,129	1,129		
費用合計	4,443	3,874	3,467	3,261	3,015		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	最上地域市町村の観光施設やイベント案内など、旬の情報を発信している。また、減免の団体によるCMは5件で、民間からの有料広告は5件だった。	今後について 新型コロナウイルス感染症の流行によりイベント告知回数は大きく減少したが、最上8市町村の紹介映像は継続して放映された。マルチディスプレイの賃貸借期間終了に伴い、令和4年度からはデジタルサイネージ事業を展開する。

【1次評価】		
1次評価	C	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 理 由 評点は29.2。主体的な広報が行われておらず、利用状況からもニーズが薄れていると思われ、目標達成は困難である。次年度からは新たな情報発信媒体を活用した事業展開が図られる見込みである。

【2次評価】		
総合評価	C	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input checked="" type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合 理 由 評点は29.0。マルチビジョンによる効果的な情報発信は行われておらず、同設備による事業は終了する。令和4年度からはデジタルサイネージによる情報発信が行われており、効果的な活用に期待する。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】							
主 管 課	総務課				記 入 者	横山 雅伸	
広域圏計画	第2部	第3章	第1節	第2項	事務事業名	育英資金貸付事業	
施 策	第	育英資金貸付基金					
実施根拠・根拠法例等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業		
事業の目的・内容 実 施 方 法 等	最上管内の専修学校である新庄コアカレッジの希望する学生に月3万円を貸付、卒業後5年間で返済していただいている。						

【事業実績等】					
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
		目標値	実績	達成度	
1 新規奨学生	0	-	0	-	
2					
3					

【事業費等】							(単位：千円)
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額						貸付原資は育英基金のため事業費には計上せず。
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他						
一 般 財 源							
人 件 費	従事職員数	0.08	0.04	0.03	0.12	0.12	
人 件 費	人 件 費	597	281	212	847	847	
費用合計		597	281	212	847	847	

【現状分析及び今後について】	
現状分析	令和3年度新規奨学生はおらず、令和3年度末時点で返済中は9名である。 令和3年度中に2名が返済を完了した。
今後について	最上地域の未来を担う若者を支援するため継続が望ましい。

【1次評価】	
1次評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">C</p> <p>A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る</p> </div> <div style="width: 60%;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold;">理 由</p> <p>評点は34.8。新規貸付の申し込みがなかったため、評点は低くなった。既存の制度利用者に対しては、返済滞納がないよう現状分析しながら業務を実施する必要がある。</p> </div> </div>

【2次評価】	
総合評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">C</p> <p>A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold;">今後の方向性</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>拡大 <input type="checkbox"/>休止 <input checked="" type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>終了 <input type="checkbox"/>削減 <input type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>統合 </p> </div> <div style="width: 30%;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold;">理 由</p> <p>評点は34.5。返済が滞らないよう、納付計画を見直すなど、制度利用者と話し合っって事業を進める必要がある。</p> </div> </div>

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	総務課			記入者	浅沼 佑紀	
広域圏計画	第2部	第3章	第1節	第3項	事務事業名	看護師育成最上地域修学資金事業
施策	第	看護師育成最上地域修学資金制度				
実施根拠・根拠法例等 看護師育成最上地域修学資金制度協定書						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input type="checkbox"/> 評価事業	<input checked="" type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実施方法等	最上地域で看護師を目指す看護学校進学者に対して月5万円の奨学金を貸与する。看護学校卒業後10年以内に5年以上最上地域の医療機関（県の機関を除く）に勤務すれば返還免除となる。奨学生の募集や貸付等の運用は市町村で行い、最上広域はチラシの作成等の共通事務を行う。					

【事業実績等】						
指標等名称		前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
			目標値	実績	達成度	
1	新規奨学生	3	-	-	-	新規奨学生募集は令和2年度で終了
2						
3						

【事業費等】 (単位：千円)							
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考	
事業費内訳	予算・決算額	44	97	99	100	100	※今後、返済免除要件を満たす奨学生が早くて令和8年度に出てくる予定。
	財国・県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	44	97	99	100	100	
人件費	従事職員数	0.08	0.08	0.03	0.11	0.11	
人件費	人件費	597	562	212	776	776	
費用合計		641	659	311	876	876	

【現状分析及び今後について】		
現状分析	平成29年度に看護師養成学校設立を見越して創設された制度であるが、看護師養成学校設立がなくなったことから、令和2年度で新規募集を終了することが理事会で決定された。	今後について 令和2年度で新規募集を終了した。今後は奨学生の就労状況等の追跡調査を継続し、返済について市町村と連携した対応が必要となる。

【1次評価】		
1次評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理由

【2次評価】		
総合評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	総務課			記入者	横山 雅伸	
広域圏計画	第2部	第4章	第2節	第2項	事務事業名	沖縄中部広域市町村圏との交流
施策	第	沖縄中部市町村圏との交流 (少年少女沖縄派遣事業/沖縄中部広域関係者受入事業/沖縄交流給食事業)				
実施根拠・根拠法例等 最上広域市町村圏事務組合と中部広域市町村圏事務組合の姉妹締結宣言						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業	<input type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実施方法等	最上広域圏から9月の第2週に沖縄へ児童40名を派遣する(派遣事業)。事前学習会を開催し、学習したひめゆりの塔や米軍基地などを視察することで、より理解を深める。また現地の小学校との学校交流を行う。中部広域からは1月に最上広域へ来圏し(受入事業)、スキー体験や雪遊びなどを通して雪国の生活を学習する。また、小学校との学校交流を行う。また児童交流だけでなく、物産交流の推進ということで、沖縄児童が最上を訪れた際に、最上広域圏の全小中学校の給食に沖縄食材を提供する。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 最上広域からの派遣人員	40	-	0	-	新型コロナウイルス感染症の影響により派遣中止	
2 中部広域からの受入人員	84	-	0	-	新型コロナウイルス感染症の影響により受入中止	
3 沖縄交流給食提供数	6,250	-	5,806	-	最上管内全小中学校	

【事業費等】 (単位：千円)							
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考	
事業費内訳	予算・決算額	5,783	427	1,325	8,436	8,386	
	財						
	源						
	内						
	訳						
	一般財源	5,783	427	1,325	8,436	8,386	
人件費	従事職員数	0.68	0.37	0.27	0.26	0.26	
	人件費	5,078	2,597	1,905	1,835	1,835	
費用合計		10,861	3,024	3,230	10,271	10,221	

【現状分析及び今後について】		
現状分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣事業及び受入事業が中止となった。代替事業として、学校交流を予定していた大蔵村立大蔵小学校と中城村立津覇小学校の間でオンライン交流事業を計画したが、同感染症の流行に伴う学校閉鎖により、事業は中止となった。沖縄交流給食事業では、「沖縄そば」を提供し交流の推進に努めた。	今後について 最上の明日を担う子供たちに、風土も文化も違う沖縄との交流を通して沖縄の歴史や風土を学ぶだけでなく、故郷最上をより深く理解してもらい、リーダーとなるべき人材の育成を目指すため、継続が望ましい。

【1次評価】		
1次評価	C	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る
理由	評点は34.0。新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度に引き続き直接的な交流が中止されたため、評点は低くなった。感染症の流行終息後を見据えて事業を計画する必要がある。	

【2次評価】		
総合評価	C	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合	理由 評点は35.0。新型コロナウイルス感染症の影響によるところが大きいが、事業としては有効なものと考えている。給食事業の実施方法については、市町村の独自提供を依頼するなど、再考を検討すべきである。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	総務課			記入者	横山 雅伸	
広域圏計画	第2部	第4章	第2節	第3項	事務事業名	もがみ大産業まつり
施策	第	もがみ大産業まつり				
実施根拠・根拠法例等	補助金交付規則第3条、第6条					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業	<input type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実施方法等	毎年10月の第2週の土日に開催される「もがみ大産業まつり」実行委員会からの依頼、及び申請により、当該まつりを共催する。目的は地場産業の振興と郷土文化の高揚を図るため。また同委員会の要請により沖縄中部広域への特別出店の依頼取次ぎを行う。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 最上広域からの助成金(万円)	0	180	168	93	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止	
2 来場者数(人)	0	45,097	0	0	//	
3						

【事業費等】							(単位：千円)
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考	
事業費内訳	予算・決算額	2,087	0	1,687	1,881	1,881	
	財 国・県支出金						
	地方債						
	その他						
人件費	2,087	0	1,687	1,881	1,881		
従事職員数	0.37	0.22	0.15	0.32	0.32		
人件費	2,763	1,544	1,058	2,258	2,258		
費用合計	4,850	1,544	2,745	4,139	4,139		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	最上地域の地場産業の振興に資するため、もがみ大産業まつり実行委員会に負担金を支出している。当地域の秋のイベントとして、地域内外の住民から期待が大きくなっている。取次ぎを行っている沖縄県の物産交流については毎年楽しみにしている住民もおり、物産交流として効果を上げている。令和3年度は実施主体が新たに選定されたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、開催中止となった。	今後について 実施主体が新たに選定され、過年度以上に様々な企画が計画されている。地域住民からの期待も大きいことから、今後も負担金の支出を継続することが望ましい。

【1次評価】		
1次評価	C A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理由 評点は28.8。新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度に引き続き開催中止となったため、評点は低くなった。感染症の流行終息後を見据えて事業を計画する必要がある。

【2次評価】		
総合評価	C A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理由 評点は34.5。事業が硬直化しているが、開催されれば賑わいがあるため、一定のニーズはあると思われる。構成市町村からの出店者募集など、工夫が必要である。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	総務課			記入者	横山 雅伸	
広域圏計画	第 部	第 章	第 節	第 項	事務事業名	外国人誘客施設設備資金融資利子及び保証料補給事業
施 策	第	外国人誘客施設設備資金融資利子及び保証料補給制度				
実施根拠・根拠法例等	最上地域外国人誘客施設設備資金融資要綱					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業		評価区分		<input type="checkbox"/> 評価事業 <input checked="" type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	外国人誘客のための設備整備を行うサービス事業社に対して利子及び保証料の1/2相当額を補給する。					

【事業実績等】					
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
		目標値	実績	達成度	
1 新規認定数	0	-	0	-	
2					
3					

【事業費等】 (単位：千円)							
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	306	222	182	146	112	
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他						
人件費	従事職員数	0.08	0.04	0.04	0.03	0.03	
	人 件 費	597	281	282	212	212	
	費用合計	903	503	464	358	324	

【現状分析及び今後について】	
現状分析	令和2年度で新規募集を終了し、現在認定を受けている事業者の利子補給に対応することとなった。現在認定を受けている事業者は2事業者で、令和9年度まで返済が継続する予定である。
今後について	新規認定の募集を終了したが、現在認定されている事業者への対応は継続する必要がある。認定されている事業者の返済終了年度である令和9年度をもって事業を廃止する。

【1次評価】							
1次評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; border: none;"> A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る </td> <td style="width: 5%; border: none; text-align: center;">理</td> <td style="width: 35%; border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none; text-align: center;">由</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table>	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理			由	
A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理						
	由						

【2次評価】										
総合評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; border: none;"> A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る </td> <td style="width: 5%; border: none; text-align: center;">今 後 の 方 向 性</td> <td style="width: 35%; border: none;"> <input type="checkbox"/>廃 止 <input type="checkbox"/>拡 大 <input type="checkbox"/>休 止 <input type="checkbox"/>縮 小 <input type="checkbox"/>終 了 <input type="checkbox"/>削 減 <input type="checkbox"/>継 続 <input type="checkbox"/>統 合 </td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none; text-align: center;">理</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none; text-align: center;">由</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table>	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今 後 の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合		理			由	
A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今 後 の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合								
	理									
	由									

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	総務課			記入者	横山 雅伸	
広域圏計画	第 部	第 章	第 節	第 項	事務事業名	ゆめりあ魅力創造事業
施策	第					
実施根拠・根拠法例等						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	最上広域交流センターゆめりあの活用促進及び魅力向上を図り、集客力及び機能性を強化することを目的として、「ゆめりあ魅力創造事業実行委員会」を設置している。もがみ体験館内ゆめりあ鉄道ギャラリーの運営、地元高校生によるもがみのジオラマ制作、施設を活用した企画に対する補助（ゆめりあチャレンジ事業）、施設内でのイベント開催の推進等、多様な事業を展開する。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 ゆめりあ鉄道ギャラリー来場者数（人）	-	-	117,549	-		
2 ゆめりあチャレンジ事業活用団体数	-	5	4	80		
3 企画事業等収入額（円）	-	-	722,930	-		

【事業費等】							（単位：千円）
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額		2,550	2,000	2,000		
	財 国・県支出金						
	地方債						
	その他						
人件費	従事職員数		0.51	0.46	0.46		
	人件費		3,599	3,246	3,246		
費用合計			6,149	5,246	5,246		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	最上広域交流センターゆめりあの活用を促進し、魅力向上に繋げることを目的として、令和3年度より実施されている事業である。令和3年度はもがみ体験館内に「ゆめりあ鉄道ギャラリー」をオープンし、ゴールデンウィークや夏休み期間中にイベントを開催した。県立新庄神室産業高等学校と「もがみのジオラマ」制作に関する協定を締結し、鉄道ジオラマを通じた教育・地域との連携を図った。施設の新たな利活用方法を促進するため、「ゆめりあチャレンジ事業」として補助事業を実施し、4団体の利用があった。	今後について 家族連れでの来館者が増加し、圏域内外でも大きな反響があったことから、今後も事業を継続することが望ましい。

【1次評価】		
1次評価	B A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理由 評点は41.2。新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、施設の活用促進を図るための取組が実施されている。地域の高校や民間協力者、企業と連携を図り、魅力的な施設を目指した事業が展開されていることから、事業の継続が必要である。

【2次評価】		
総合評価	B A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合
		理由 評点は44.0。継続が必要である。新型コロナウイルス感染症が終息した際には、現在以上の効果が見込まれるが、事業主体を指定管理者等に移行するなど、今後の事業の在り方を検討していく必要がある。